

第1期琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証・分析

■テーマごとの重点項目と成果目標による検証

テーマ		成果目標	単位	基準値	R1目標値	R1実績値	比較	達成度	検証	関連する重点項目	備考
育む	地域の宝である子どもを産み育てやすいまちづくり	事業実施による成婚数 (H27～R1の累計)	組	5	15	4	△ 11	26.7%	△	出会いと結婚の希望をかなえる	くる♡くるツアーお寺で縁結び 広域連携事業
		合計特殊出生率	率	1.59	1.71	1.95	0.24	114.0%	◎	子どもを生み育てやすいまちづくりの実現	現時点での最新数値(H30年実績)
		25歳時点における町内定着率	%	なし	80.0%	70.7%	-9.3%	88.4%	△	子どもの能力を伸ばす教育環境の充実 ふるさとを愛する教育の充実	町内中学校卒業生の25歳時点での在住の状況
創る	安定した就労環境の整備と魅力あるしごとづくり	農林水産業への就業者数 (H27～R1の累計)	人	1	30	31	1	103.3%	◎	自然の恵みからなる農林水産業の振興	
		起業創業件数 (H27～R1の累計)	件	1	9	10	1	111.1%	◎	地元産業の発展と新たな展開 魅力あるしごとの創出	橋本塗装工業、合同会社リベルテ
輝く	ふるさとの魅力を誇り、生き生きと輝くひとづくり	年間観光入込数	人	713,000	927,000	684,000	△ 243,000	73.8%	△	豊かな自然と文化を生かした観光振興	
		課題解決に向けた地域活動団体等の年間活動数	回	なし	150	全自治会が実施	-	-	-	○	女性が輝き、活力を生むまち協働によるまちづくり ふるさとを支えるひとづくり
根づく	だれもが健康で心豊かに暮らせるまちづくり	社会移動による人口減少数 (H27～R1の累計)	人	-272	-200	-307	△ 107	153.5%	△	移住・定住希望者のIJUターン支援	社会移動 (H31△53人)
		健康寿命の延伸：女性 (H27とR1の比較)	歳	なし	1.00	1.01	0.01	101.0%	◎	健康寿命日本一を目指すまちづくり	

第1期琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証・分析

■各施策取組の検証

テーマ	分野	重点項目	検証
育む	子育て	出会いと結婚の希望をかなえる	広域連合主催の婚活イベントは好調であったが、成婚数は増加していない。婚活支援を町で継続すべきか検討が必要。
		子どもを産み育てやすいまちづくりの実現	出生数、第3子以降の出生数共に目標値を概ね達成した。しかし、育児にストレス・悩みを抱えている保護者の割合は多いことから、2子以降も安心して産み育てられるよう、経済面や環境等サポートする必要があり、第2期においてサポートを拡充していく。
	教育	子どもの能力を伸ばす教育環境の充実	不登校の児童生徒数が増加傾向にあり、改善を要する。第2期においてはICT環境の整備などにより、個人ごとの特性、環境に応じた教育確保に対する支援を行い、誰1人取り残さない教育の実現を目指す。
		ふるさとを愛する教育の充実	ことうら子どもパーク、芸術・音楽体験など順調に推移したが、ふるさとへの愛着に関するアンケート数値は減少傾向にある。生まれ育った地域への愛着を高めるための取り組みを拡充していくことは第2期においても課題となる。
創る	産業	自然の恵みからなる農林水産業の振興	新規就業者数については目標数値を達成。また、農業法人数、作付面積など、効果があらわれていると考える。一方で耕作放棄地は増加し続けているため、担い手育成と規模拡大・集約が求められている。
		地元産業の発展と新たな展開	新規契約、海外への販路拡大については順調に推移した。優良血統和牛の導入も概ね目標値を達成。販売額も上昇傾向にあるため、これまでの取り組みを継続し、情報社会に対応した先進技術の導入を推進させ持続可能な農林水産業を拡充させていきたい。
		魅力あるしごとの創出	移住者の起業支援に効果があり、新規起業が順調に推移している。このまま継続していくべき事業と考える。企業誘致については、ワークシェアやサテライトオフィスに対する支援など企業誘致にこだわらない取り組みが必要か。
輝く	観光	豊かな自然と文化を生かした観光振興	観光入込客数は大きな変化はなく、目標値達成は達成できなかった。観光資源は多くあり、潜在的部分をどのように関連付けて活かしていくのが今後の課題となる。
	人材	女性が輝き、活力を生むまち	女性活躍、男女共同参画に関して、非常に取り組みが弱い部分である。第2期においては5つのプロジェクトに絞った戦略としているため、項目にはあげていないが、町の政策として課題が残る。
		協働によるまちづくり	各地区振興協議会、まちづくりネットワーク、地域づくり団体に対する町の支援により、活動が図られている。町の支援がなくなったときに継続して活動できるかが課題。
		ふるさとを支えるひとづくり	琴浦こども塾、熱中小学校ともに第1期総合戦略の事業として取り組んできたが、今後自主運営に移行できるのが課題。数値目標からは事業効果は高くないが、長期的な視点が必要な項目。
根づく	定住	移住・定住希望者のIJUターン支援	都市部への人口集中は加速しており、社会減の目標値を大きく超える結果となった。これまでの取り組みを継続するだけでは改善は図れない。第2期においては情報発信や、IJUターン者への相談体制の整備、空き家の活用など強化していく。
	健康	健康寿命日本一を目指すまちづくり	高血糖、高血圧、肥満の割合は目標値に達していない。75歳以上の介護認定率も目標値には遠い。数値上での改善が見られないが、結果として健康寿命は延伸している状態。平均寿命の延長も要因ひとつと考えられる。第2期においては健康で活躍できる状態をいかに保つかに目標を切り替えて展開する。